

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和4年5月31日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

- ① 新型コロナウイルス感染症、予防接種の進捗状況について
- ② 一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会 第1回理事会について
- ③ ピオーラカフェ(5/25)の講話実施報告
- ④ 「令和4年度新見市内事業所料金加算一覧表」
「令和4年度新見地域年間会議等計画一覧」について
- ⑤ 令和4年度第1回多職種連携会議・人材育成研修会について
- ⑥ オレンジカフェ連絡会について

4 協議事項

次回開催日

令和4年 月 日（ ）

一般社団法人医療ネットワーク岡山協議会

第1回 理事会次第

令和4年5月25日(水) 18時00分～
岡山県医師会館 4階 401会議室

1. 会長あいさつ

2. 定足数の確認

3. 協議事項

(1) 役員等選出期日の告示について

№ 1

(2) 役員等推薦委員会の委嘱について

№ 2

(3) 令和4年度 定時会員総会の開催について

1) 日時 令和4年6月29日(水) 18時00分～

2) 場所 岡山県医師会館 4階 401会議室

3) 次第

№ 3

4) 提出案件

第1号議案 令和3年度事業報告(案)

№ 4

第2号議案 令和3年度 決算(案)

№ 5

第3号議案 役員等の改選(案)

- ・ 理事、監事の選任
- ・ 議長、副議長の選任
- ・ 顧問の承認

その他 医療ネットワーク岡山(晴れやかネット)の今後の運用について(案)

№ 6

(4) 運営委員会委員の選任について

№ 7

(5) 令和4年度 職員の賞与支給額の決定について

№ 8

(6) 令和4年度 夏季休暇の設定について

№ 9

4. 報告事項

・ 晴れやかネットの状況について

№ 10

5. その他

№ 11

医療ネットワーク岡山（晴れやかネット）の今後の運用について（案）

1 現状認識

晴れやかネットは、平成 25 年 1 月の運用開始以降、医療連携システムにクラウド型システム等の追加や、医療・介護連携システムを追加導入するなど、様々な機能の充実を図り、医療機関のみならず様々な介護保険事業者や医療・介護職能団体等にこの利用を働きかけ、一部の地域では医療連携や医療・介護連携での ICT 活用が定着するなど、今後に向けたモデルを示す等の成果を上げてきたところである。

しかし、システムの運営コストが高止まりする一方で、これを積極的に利用する施設は限られ、利用していない施設が徐々に退会し、さらに、医療・介護システムの運営費の公費負担が令和 3 年度から国の指示で出来なくなったことから利用料金制を導入したところ、多くの施設が退会したため、収支が著しく悪化している。

<システムの概要>

(1) 医療連携システム

病院とかかりつけ医等が、電子カルテ・画像等の情報を共有

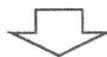
- ①基本機能(H25.1 運用開始)…サーバを介した情報連携システム
- ②双方向情報共有システム（通称：シェアメド、H29.4 運用開始）
- ③クラウド型情報連携システム（通称：新シェアメド、H30.4 運用開始）

(2) 医療・介護連携システム(通称：ケアキャビネット、H26.3 運用開始)

患者情報を医療（病院・診療所）と介護（訪問看護ステーション・介護サービス施設等）が共有

2 問題点

- ・医療連携システムは、会費に見合うメリットが感じられないとして、システム利用に必要な設備の更新（200～500 万円程度の自己資金が必要）のタイミングで退会が続出している。
- ・医療連携システムは、現状で約 3 割の施設しか利用がなく、今後、会員が増える見通しがない。
- ・クラウド型情報連携システムも、利用施設数が少なくこの運用費用に見合う会費収入が得られない。
- ・国の指示により、令和 3 年度から国の医療介護総合確保基金から医療・介護連携システムの運営費への支出が出来なくなったため利用料金制を導入したところ、多くの施設が退会し、収益が悪化している。
- ・システムの運営コスト自体が高止まりしている現状にある。
- ・このままシステムを維持すると、開発ベンダーとの契約により令和 5 年度から運営コストがさらに約 900 万円増額となるため、更なる収支の悪化が見込まれる。
- ・新シェアメドについては、令和 5 年度にサーバ更新に約 2,000～3,000 万円要することが見込まれる。



今後、利用料等収入の大幅な増加は見込めない中で、運営費等がさらに増加するため、近々資金ショートする可能性が高い。

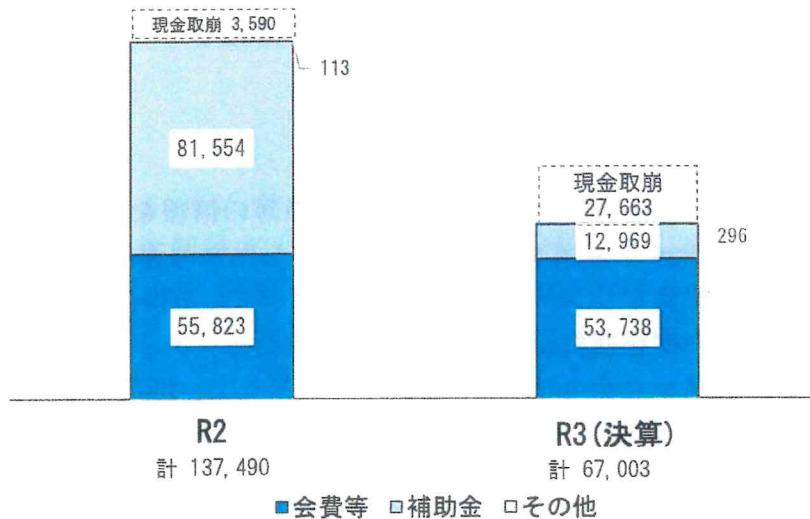
<会員数の推移>

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3
医療連携	439	439	432	439	446	421	400	358	308
医介連携	23	72	220	306	360	401	454	504	280
計	462	511	652	745	806	822	854	862	588

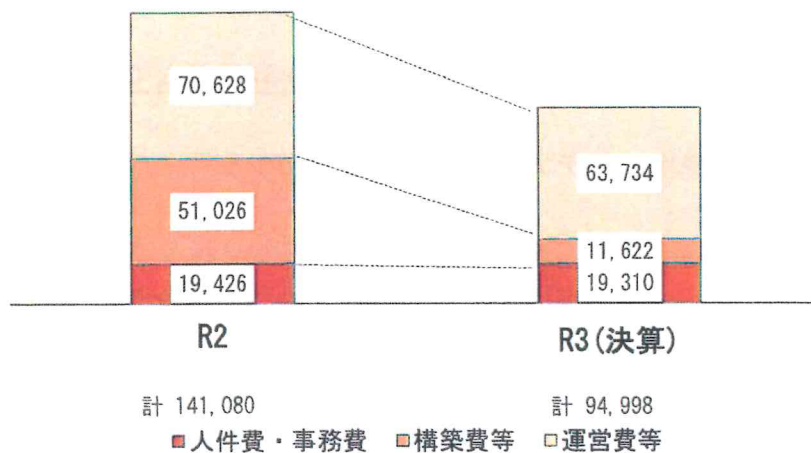
対前年度 49 141 93 61 16 32 8 △ 274

<令和2年度、令和3年度決算推移>

①収入



②支出



<今後の大まかな年間収支見通し>

収入 53,000 千円 (会費)

支出 83,000 千円 (うちシステム維持費 52,000 千円、人件費等 31,000 千円)

差引 ▲30,000 千円

3 対応方針案

- ・今後の事業継続を断念し、令和4年度末をもって「晴れやかネット」の運用を終了する。
- ・県から「晴れやかネット」の運営を受託している協議会は、解散の方向で検討する。

＜参考：解散する場合＞

- 今後、解散に向けた検討を行うことを社員に告知
- いずれかのタイミングで社員総会を開催し、解散決議
- 清算法人へ移行し、清算事務を行う。

4 運用終了により懸念される影響

- (1) 方針告知による多数会員の年度途中退会で破産する可能性
※年度末までの会員として残っていただくようお願いすることが必要
- (2) 現行の利用者（医療機関等）における業務への悪影響
- (3) 運用終了に際し、県から国への補助金（耐用年数未経過分）の返還や、各医療機関からシステム整備に要した補助金（耐用年数未経過分）の県への返還
- (4) 各医療機関等でシステム整備に要した費用に関する損害
- (5) 協議会の事務局職員の処遇

5 今後の検討内容

「晴れやかネット」で得たこれまでの成果を活かせるよう、コスト削減の可能性も含め、今後につなげるための仕組みの創設の検討、国とも協議しながら補助金の返還額の精査等を行う。

なお、これらについては、県や協議会、有識者、ベンダー等を交え検討を行う。

- (1) 利用者数の多い一部の機能などについて、他から切り離して継続することが可能か検討
- (2) 医療情報連携システム及び医療・介護連携システムについて、これまで築いたシステム基盤や地域での人的つながりや枠組みを活用しながら、「晴れやかネット」の大きな情報ネットワークではなく、これに代わる地域での情報連携の仕組みづくりについて検討（K-chartの活用、同一のGWサーバを用いる医療機関同士での情報連携、既存の民間ツールの利用可能性の研究と紹介、ベンダーによる医療介護連携システムの運営の検討等）
- (3) 各医療機関から補助金返還を最小化するための補助整備機器の活用方法や返還免除の可能性の確認・検討、法人残余財産の活用可否等の検討

6 参考

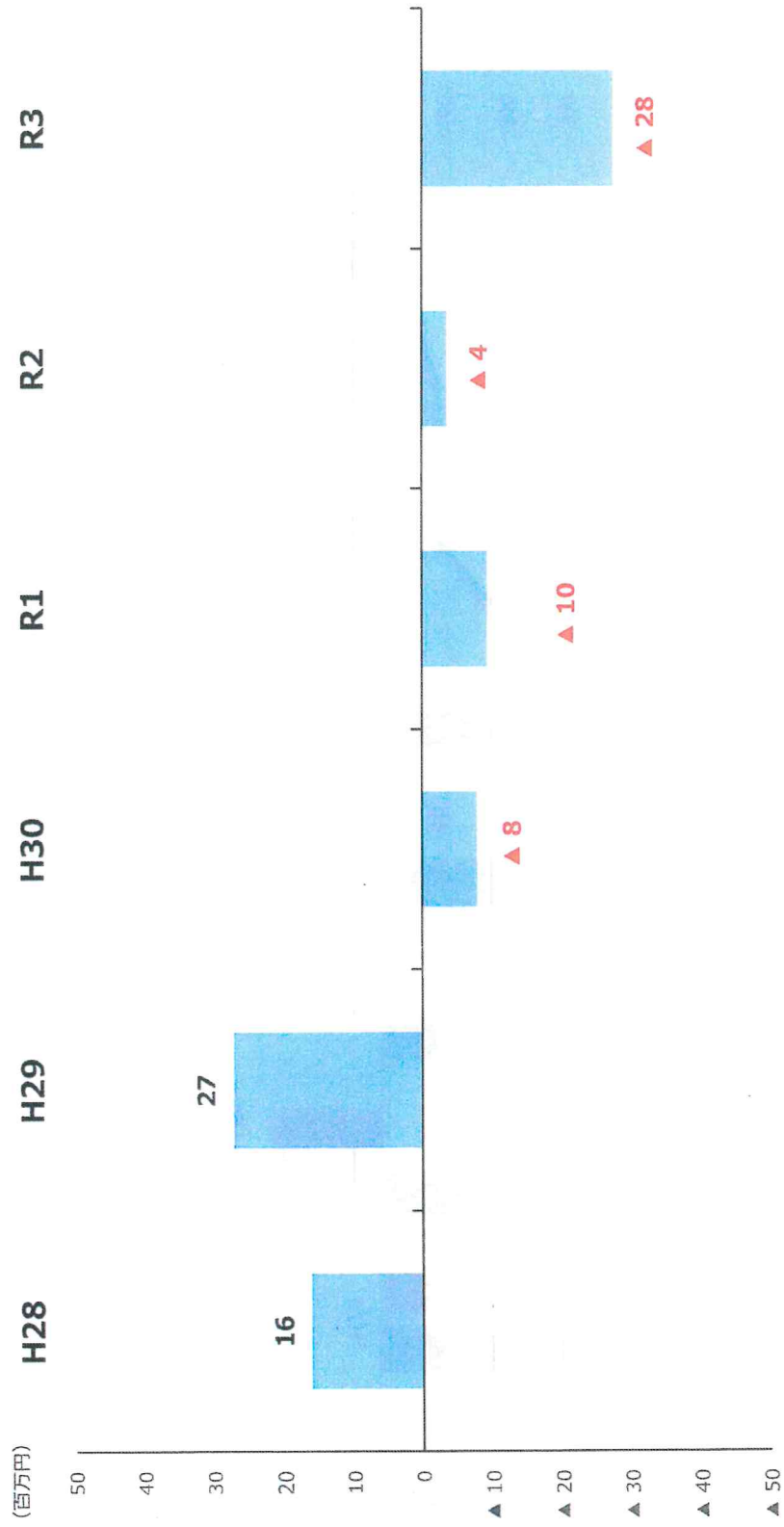
- (1) 令和4年度の協議会の日程
 - ・定時社員総会（6月29日）
- (2) 運用終了に向けた今後のスケジュール案（別紙参照）

解散スケジュール（案）

凡例 ○：定例のもの、●■は臨時のもの

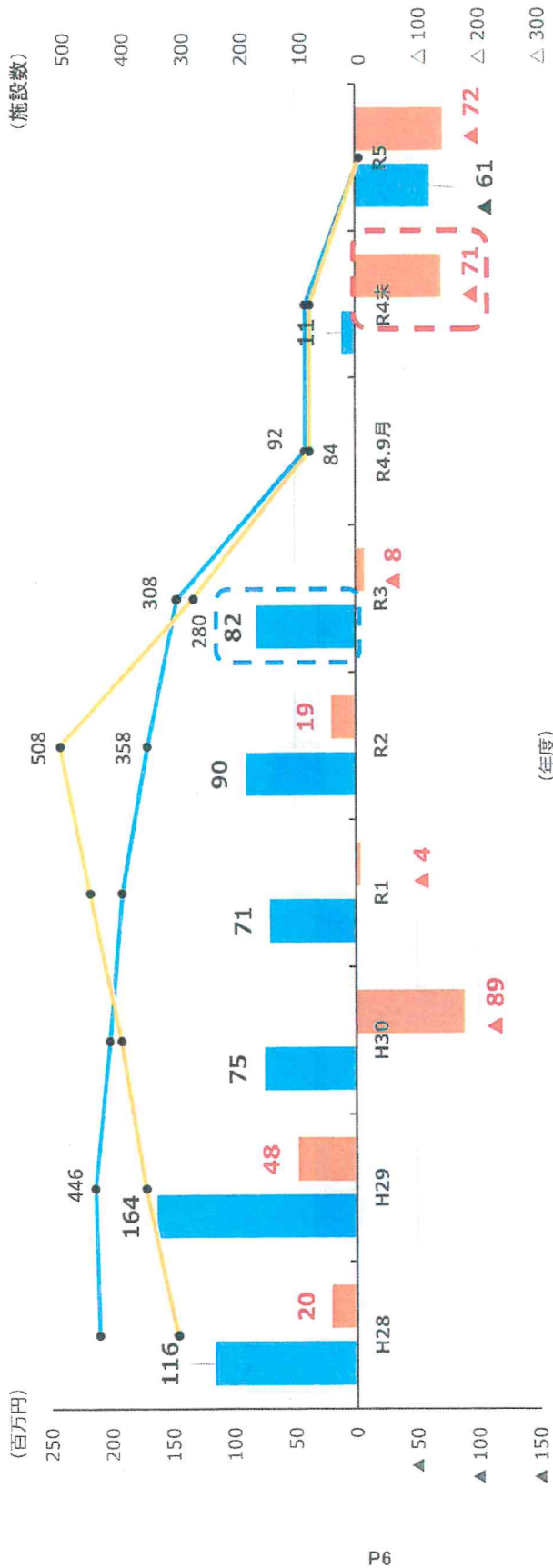
年月	R4年8月臨時総会で決議、R5年3月末で解散
R4年 5月	下旬 ○ 理事会 5/25 18:00～ ・役員等選出期日の告示、推薦委員会の委嘱 ・R3 事業報告、R3 決算承認、役員等の改選 ・運営委員会委員の選任 ＜運用終了への理解＞
6月	下旬 ○ 定時社員総会 6/29 18:00～ ・R3 事業報告、R3 決算承認、理事・監事選任 ＜解散検討の告知＞ ○ 理事会 6/29 18:30～ ・会長、副会長、常任理事の選任
7月	● 臨時理事会 ・解散に至る状況報告 ・解散決議 ・臨時総会の開催決議 ・解散事業年度の決算報告の承認 ・清算人の選任 ・臨時社員総会の招集通知
8月	● 臨時社員総会 ・解散決議＜特別決議:2/3 以上による決議＞ ・解散事業年度の決算報告の承認 ・清算人の選任
9月	■ 解散登記、登記印鑑届出 解散日から2週間以内 ・清算人の氏名等 ■ 税務署等へ解散の届出 解散日から遅滞なく ■ 財産目録、貸借対照表の作成 清算人就任後遅滞なく ■ 債権者への催告、官報に公告 清算開始後遅滞なく 少なくとも2月
10月	
11月	■ 確定申告 解散日から2月以内
12月	
R5年 1月	
2月	
3月	● 臨時社員総会 ・財産目録、貸借対照表の承認
4月	■ 清算終了の登記 清算終了後2週間以内 ■ 税務署等へ清算終了の届出
5月	■ 確定申告 清算終了後2月以内

○平成28～令和3年度の単年度収支（一般正味財産増減額）



(案) 収支及び会員数の推移見込み (R4年5月試算)

R4.8月臨時総会にてR5.3月末をもって解散する方針を示した場合
(R4.9月に会員収入7割減となり、R5.3月末に会員0になると仮定)



システム改修資産+現金預金
R3末決算時点

81,666千円

システム改修資産+現金預金
R4末決算時点(見込額)

約10,882千円

清算時には県から国へ国庫補助金返還が必要
R4年度末時点

約25,198千円

清算時には医療機関から県へ国庫補助金返還が必要
R4年度末時点

約6,950千円

※対象：13医療機関、返還額：約400~1,500千円(想定)

ゲートウェイサーバ更新補助金（R1～R2年度）国庫返還額（おおまかな試算）

（単位：千円）

	更新時補助		経過年数	①定率法		②定額法	
	補助年度	補助額		償却額	国庫返還額 (期末帳簿価額)	償却額	国庫返還額 (期末帳簿価額)
A病院	R1	2,500	3	360	540	500	1,000
B病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
C病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
D病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
E病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
F病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
G病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
H病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
I病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
J病院	R1	1,000	3	144	216	200	400
K病院	R2	1,000	2	240	360	200	600
L病院	R2	416	2	100	150	83	250
M病院	R2	2,500	2	600	900	500	1,500
				計	3,894	計	6,950

※償却開始の起点日を、更新年度の次年度4月1日として試算。

令和4年度 第1回多職種連携会議・人材育成研修会 企画書

日時： 7月 14 日（木） 18：30～20：30

会場：本部 介護老人保健施設くろかみ 研修室

参加会場 地域福祉センター 多目的ルーム・2階研修室(30名位までなら多目的ルームのみ)

ZOOMによるリモート参加

テーマ：災害時の備えと緊急対応について

～地震、台風、洪水、火災時に備え、医療・介護従事者が準備しておかなければならないこと～
(今回は、感染症は除く)

参加者：参加人数は制限せず、新型コロナの感染状況により開催形態をリモートのみに変更する

医療・介護に携わっている人

共催：岡山県介護支援専門員協会新見支部

I. 「災害への備え」の取り組みと今後の課題(50分)

1. 新見市 総務部 総務課 危機管理室 主査 長田友昭氏
2. 新見市 福祉部 福祉課 社会福祉係 係長 坂東真由美氏
3. 新見市 自主防災組織連絡協議会 会長 吉村薫氏 (石蟹自主防災会)
4. 岡山県訪問看護ステーション連絡協議会 新見・高梁地区理事
阿新虹の訪問看護ステーション管理者 須藤美帆氏
5. 新見医師会立 介護老人保健施設くろかみ 総務科長 山下裕実氏

取り組み紹介の内容

- 1 新見市全体の防災システムについて
- 2 「新見市避難行動要支援者登録申請書 兼 個別避難計画作成同意書」について
- 3 市内の自主防災組織について
- 4 市内の3訪問看護ステーションが連携を図って災害時に備えていることの紹介
- 5 介護老人保健施設くろかみにおいて備えている防災システムの紹介

II. グループワーク(30分)

会場参加、ZOOM参加に分かれて、グループワークをする(できるだけ、同じ職種、同じ種類に事業所同士でグループをつくる) 各グループリーダーは指名しておく

課題：「上記の5組の取り組み紹介を聴いて、自分たちの職種や事業所で、明日からでも取り組んでいきたいこと、いかなければならないこと」を話し合う

- ・「準備できていないこと→できるようにしていくにはどうしたらいいか」など
- ・「こんな体制を作ってほしい」「こんなことができるといいな」など国や県・市町村に望むこと

などを語るのではなく、自分たちにできること、すべきことを現実的に考えていく

Ⅲ.グループ発表(10～15分)

- ・会場グループ、ZOOMグループそれぞれ、2～3グループに代表して発表してもらう
- ・各グループリーダーを介して、話し合いの記録を回収する

Ⅳ.まとめ(分：時間調整)

新見市 総務部 総務課 危機管理室の長田友昭様

※ハイブリッド形式でのグループワークなので、タイムロスがあると考え(5分程度)

※開会・閉会の挨拶、訪問看護師から「口腔ケアの話」に、10分程度は必要

※このため、質疑応答の時間が取れないので、質問についてはメール、FAXで送ってもらい、後日講師に確認して、質問者に返事をする。その内容に関しては、ホームページでも公開する

令和4年度 新見地域年間会議等計画一覧

団体名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
介護保険課 (地域包括支援センター)	新見地域医療ネットワーク			○				← (年3回程度開催予定) →						
	在宅医療・介護連携推進協議会				○			←	→					
	市民講演会 (未定)						←	→						
在宅医療・介護 連携支援センターまんさく	多職種連携会議・人材育成研修会				14			←	→		←	→		
	多職種連携小規模リモート会議					←	→	←	→	←	→			
	認知症ケアパス普及研修会						←	→				←	→	
ケアマネ協会新見支部	定例会・セミナー・サロン			16	26	←	→	←	→	←	→	←	→	
	多職種連携会議				14			←	→		←	→		
健康医療課	ふれあいミーティング (未定)													
	看護就職フェアの開催(実行委員会が主催)						←	→						
	健康づくり連絡会 (未定)													
	健康づくり推進大会 (未定)													
	心の健康づくり講演会								←	→				
	ゲートキーパー養成講座								←	→				
	ラジオ体操講習会						←	→						
ピオーネ	シミュレーショントレーニング(年3~4回)					←	→		←	→	←	→		
	PIONEシンポジウム(未定)							← 未定	→ 未定					
備北保健所 新見支所	高梁・新見地域医療構想調整会議						未定							
	保健所運営協議会							←	→					
	給食施設従事者・管理者研修会						←	→	(従事者2回、管理者1回)					
	保健従事者研修会						←	→	1回					
新見公立大学・短期大学	学校祭(鳴滝祭)		21 22											
新見医師会	学術講演会		30		13			11						
	新見地域在宅医療支援システム研究会		31	28	26	30	27	25	29		31	28	28	
	認知症ケアパス普及研修会						←	→			←	→		
岡山県看護協会新見支部	支部集会				9					26				
	研修会・役員会			2						○		○	○	
	看護研究発表会											25		
	施設代表者会議								21					
	看護就職フェア (今年度は中止)													
	まちの保健室 (今年度は休止)													
	哲西福祉健康まつり (今年度は休止)													
	福祉フォーラム											←	→	
	地域包括のための交流会								8				12	
	新見市看護奨学金受給学生との懇親会						27							
新見市看護奨学金受給学生の職場体験							10							
薬剤師会	薬と健康の週間(開催は未定)													
新見市 社会福祉協議会	ピオーラカフェ		25		27		28		30		25			
	家族介護者のつどい・くつろぎの家			18					29			18		
	ふれあいいいきサロン各地区、サロン交流会	市内90会場で毎月実施						← サロン交流会 →						
	福祉連絡会・小地域ケア会議、地区社協情報交換会	福祉連絡会等 市内約31会場各2~3回(5月~)						①地区社協情報交換会(兼 小地域ケア会議全体会)						
	災害ボランティア養成講座、傾聴ボランティア養成講座				傾聴ボラ	30		5災害ボラ		18		ボラ情報交換会		
	無理しない地域づくり講座4回		4		2			17	←	→				
	福祉大会・権利擁護推進大会・なんでも相談会			25	なんでも相談会			16	福祉大会		10 権利擁護	17 ピオーラ 食堂	4	相談会